

教育長からのいじめに関する緊急メッセージ

みんなの「願い」は、みんなが学校で「かけがえのない存在」として大切にされ、安心して安全な環境の中、自分の生き方を考えたり、将来の夢をふくらませたりすることができることです。

そうしたみんなの「願い」をかなえるためには、「いじめ」を絶対に許してはいけません。

「いじめ」は人間として絶対に許されない、とても深刻で重大な問題です。

いじめられている人へ。

つらい思いを一人で抱え込まないでください。

どんなことがあっても、自らの命を絶ってはいけません。

あなたは、決して一人ではありません。

安心して先生やまわりの大人に相談してください。

いじめている人へ。

いじめをすぐに止めてください。

あなたの言葉や態度が、相手の心を傷つけ苦しめていることに気付いてください。

あなたの命がかけがえのない命であるように、相手の命もかけがえのない命なのです。

「いじめ」を見てはやし立てて喜ぶ人へ。

「いじめ」の行為を直接的に行っていないなくても、はやし立てれば「いじめ」ていることと同じです。

「いじめ」を見て見ぬふりをしている人へ。

どんなに心の中で、いけないことだと思っても、何もしなければ「いじめ」を許していることと同じです。「いけないことは、いけない。」と言える勇気を持ってください。それでも、自分で「いじめ」を止められないときは、信頼できる友だちや先生、まわりの大人に必ず相談してください。

みなさんには、「いじめ」を絶対にしない人、許さない人になってほしいと願っています。

私たちは、「いじめ」を絶対に許しません。いじめられている児童生徒を徹底して守り通します。

みんなの「願い」を、みんなの力で実現させましょう。

平成24年8月28日

広島県教育委員会
教育長 下崎 邦明